



登窯 2の間の入口(和泉作)



ぐい呑み いろいろ



空、窯印



郵便受けと表札(和泉作)



三島皿の印花押し、自分が無くなって、自分になっていく時間。



展示場



府川 和泉  
Izumi Fukawa

富山出身。  
石田千比呂師のもと3年、藤ノ木士平師のもと3年修業し、開窯・独立。

- 駐車場 (5台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

# 陶ぼう空

やこ



土の素朴さ、李朝の雰囲気に着かれて焼物の世界に入り、藤ノ木士平氏のもとで修業をして唐津焼への価値観が大きく変わった。「自然と一体になり、土で表現したい」自然の豊かさに触れて感じる幸せが、府川さんの作品づくりの原点だ。作風も常に自然体で、自分の内側から出てくる感性や直感を大切にしている。

自然との共存、豊かさを、人々に感じてもらう。土を活かした作品を通して、自分も生きているんだということを実感してほしいと話す。「ありのままに、自然とともに歩む。」物腰が柔らかく、自然体な府川さんの生き方が、作品の素朴さや雰囲気につながりと表れている。

ありのままに、自然とともに。